

区	分	金	額
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	△	20,000,000
(1)	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△	30,000,000
(2)	建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金の返済による支出	△	11,000,000
(3)	その他の他会計借入金の返済による支出	△	61,000,000
財務	活動によるキャッシュ・フロー	△	3,257,579
資金	増加額		669,472,703
資金	（又は減少額）		672,730,282
資金	前期		
資金	期末		

(令和2(2020)年度注記)

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産

- ・ 減価償却の方法 定額法によっている。
- ・ 主な耐用年数

建物 8年～38年

構築物 3年～50年

機械及び装置 9年～17年

工具、器具及び備品 2年～15年

イ 無形固定資産

- ・ 減価償却の方法 定額法によっている。
- ・ 主な耐用年数

商標権 10年

ソフトウェア 5年

(2) 引当金の計上方法

ア 退職給付引当金

- ・ 職員の退職手当の支給に備えるため、令和2(2020)年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上しているが、一般会計との協定に基づき、企業局と知事部局等との間で異動した者の退職手当は、企業局における勤務年数と知事部局等における勤務年数とで按分した額をそれぞれが負担することとしている。

イ 賞与引当金

- ・ 令和3(2021)年度の期末手当及び勤勉手当の支給並びにこれらに伴う法定福利費の支出に備えるため、令和2(2020)年度末における在職職員の支給見込額に基づき、令和2(2020)年度の負担に属する額(12月から3月までの4か月分)を計上している。

(3) 消費税及び地方消費税の会計処理

- ア 決算報告書については税込み方式になっている。
- イ 財務諸表については税抜き方式になっている。

2 キャッシュ・フロー計算書に関する注記

- ・ 該当事項はない。

3 貸借対照表に関する注記

- ・ 該当事項はない。

4 セグメント情報に関する注記

(1) 報告セグメントの概要

- ・ 施設管理事業会計は経営総合管理事業、ゴルフ場事業及び賃貸ビル事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから、それらを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

セグメント区分	事業の内容	容
経営総合事業	企業局の共通管理経費の一括管理等	
ゴルフ場事業	栃木県民ゴルフ場の管理運営	
賃貸ビル事業	栃木県本町合同ビルの管理運営	

VERY 

GOOD

LOCAL

とちぎ